



2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 長谷川香料株式会社

コード番号 4958 URL <https://www.t-hasegawa.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長兼社長執行役員（氏名）長谷川 研治

問合せ先責任者 （役職名）執行役員 IR担当 （氏名）瀧澤 順 TEL 03-3241-1151

半期報告書提出予定日 2025年5月14日 配当支払開始予定日 2025年5月30日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年9月期中間期	35,823	7.1	4,518	5.2	4,924	8.1	3,359	5.0
2024年9月期中間期	33,453	6.8	4,295	19.8	4,555	22.2	3,198	13.2

（注）包括利益 2025年9月期中間期 4,384百万円（17.2％） 2024年9月期中間期 3,741百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	82.06	81.65
2024年9月期中間期	77.74	77.43

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年9月期中間期	143,777	121,502	84.2
2024年9月期	144,504	119,681	82.6

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 121,124百万円 2024年9月期 119,319百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	31.00	—	39.00	70.00
2025年9月期	—	37.00			
2025年9月期（予想）			—	37.00	74.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	74,300	3.7	9,970	6.4	10,450	7.5	7,580	5.2	185.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 長谷川香料(平湖)有限公司、除外 1社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期中間期	42,708,154株	2024年9月期	42,708,154株
② 期末自己株式数	2025年9月期中間期	1,858,768株	2024年9月期	1,563,008株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年9月期中間期	40,939,680株	2024年9月期中間期	41,145,292株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2025年5月22日 (木) にライブ配信による機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。決算説明会資料は、TDnetで開示するとともに、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、景気は緩やかな回復が続きました。一方で、米国新政権の動向などの国際情勢、原材料価格や資源価格の高止まり、物価の上昇、為替の大幅な変動等が国内外の経済活動に与える影響が引き続き懸念され、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に関する要求増加など依然として厳しい状況にありました。

このような環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力してまいりました。

当中間連結会計期間におきましては、売上高は前年同期に比べ2,370百万円(7.1%)増加し、35,823百万円となりました。なお、当社単体の売上高は前年同期比3.9%の増収、主要な海外連結子会社の売上高は、米国子会社が前年同期比9.4%の増収(現地通貨ベースでは同6.4%の増収)、中国子会社が前年同期比14.5%の増収(現地通貨ベースでは同11.7%の増収)、マレーシア子会社が前年同期比16.6%の増収(現地通貨ベースでは同6.3%の増収)となりました。

部門別に見ますと、食品部門は、中国子会社、米国子会社、当社単体の売上増加を主因に前年同期比7.4%増加し、31,711百万円となりました。

フレグランス部門は、当社単体、中国子会社、インドネシア子会社の売上が増加したことを主因に前年同期比4.7%増加し、4,112百万円となりました。

利益につきましては、営業利益は人件費の増加及びのれん償却額の増加に伴い販売費及び一般管理費が増加したものの、売上増及び売上原価率の改善による売上総利益の増加を主因に前年同期に比べ223百万円(5.2%)増加し、4,518百万円となりました。経常利益は営業利益の増加並びに為替差益の増加を主因に、前年同期に比べ369百万円(8.1%)増加し、4,924百万円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、投資有価証券評価損を計上したことにより特別損失が増加したものの、経常利益の増加を主因に、前年同期に比べ160百万円(5.0%)増加し、3,359百万円となりました。

なお、当中間連結会計期間における損益計算書の換算に適用する主要通貨の日本円への換算レート(期中平均レート)は、下記のとおりです。

- 1 米ドル＝152.52円(前年同期148.25円、前年同期比2.9%円安)
- 1 人民元＝21.05円(前年同期20.54円、前年同期比2.5%円安)
- 1 マレーシアリンギット＝34.52円(前年同期31.48円、前年同期比9.7%円安)

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高等を含めて表示しております。

(日本)

売上高は20,586百万円(前年同期比3.9%増)、セグメント利益は2,345百万円(前年同期比3.2%減)となりました。

(アジア)

売上高は8,920百万円(前年同期比13.8%増)、セグメント利益は2,408百万円(前年同期比36.8%増)となりました。

(米国)

売上高は7,945百万円(前年同期比8.4%増)、セグメント損失は293百万円(前年同期は69百万円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が5,204百万円増加した一方で、有価証券が4,998百万円減少したことを主因に、流動資産は前連結会計年度末に比べ8百万円増加し、72,250百万円となりました。

(固定資産)

前連結会計年度末に比べ、有形固定資産その他に含まれる建設仮勘定が642百万円増加した一方で、のれんが202百万円、投資有価証券が1,053百万円減少したことを主因に、固定資産は前連結会計年度末に比べ736百万円減少し、71,526百万円となりました。

(流動負債)

前連結会計年度末に比べ、賞与引当金が852百万円減少したことなどを主因として、流動負債は前連結会計年度末に比べ2,285百万円減少し、12,485百万円となりました。

(固定負債)

前連結会計年度末に比べ、繰延税金負債が185百万円減少したことを主因に、固定負債は前連結会計年度末に比べ262百万円減少し、9,788百万円となりました。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が1,754百万円、為替換算調整勘定が1,688百万円それぞれ増加した一方で、自己株式が979百万円増加(純資産は減少)、その他有価証券評価差額金が677百万円減少したことを主因として、純資産合計は前連結会計年度末に比べ1,820百万円増加し、121,502百万円となりました。

なお、当中間連結会計期間末における貸借対照表の換算に適用する主要通貨の日本円への換算レート(期末日レート)は、下記のとおりです。

1 米ドル＝149.52円(前連結会計年度末142.73円、前連結会計年度末比4.8%円安)

1 人民元＝20.59円(前連結会計年度末20.46円、前連結会計年度末比0.6%円安)

1 マレーシアリンギット＝33.72円(前連結会計年度末34.79円、前連結会計年度末比3.1%円高)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,396	32,600
受取手形及び売掛金	20,473	18,736
有価証券	6,997	1,999
商品及び製品	8,053	9,047
仕掛品	161	213
原材料及び貯蔵品	8,200	8,354
その他	989	1,322
貸倒引当金	△30	△25
流動資産合計	72,241	72,250
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,463	21,281
その他(純額)	14,903	15,168
有形固定資産合計	36,367	36,449
無形固定資産		
のれん	9,855	9,652
その他	12,868	13,458
無形固定資産合計	22,723	23,110
投資その他の資産		
投資有価証券	11,997	10,944
退職給付に係る資産	18	18
その他	1,223	1,072
貸倒引当金	△67	△69
投資その他の資産合計	13,171	11,965
固定資産合計	72,262	71,526
資産合計	144,504	143,777
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,324	6,227
未払法人税等	1,498	1,236
賞与引当金	2,004	1,151
役員賞与引当金	85	—
撤去費用引当金	204	204
その他	4,654	3,665
流動負債合計	14,771	12,485
固定負債		
繰延税金負債	840	655
退職給付に係る負債	7,480	7,446
資産除去債務	69	68
長期未払金	178	171
その他	1,481	1,446
固定負債合計	10,051	9,788
負債合計	24,822	22,274

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	7,513	7,518
利益剰余金	90,670	92,424
自己株式	△2,556	△3,536
株主資本合計	100,991	101,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,304	5,626
為替換算調整勘定	12,171	13,859
退職給付に係る調整累計額	△148	△134
その他の包括利益累計額合計	18,327	19,352
新株予約権	362	377
純資産合計	119,681	121,502
負債純資産合計	144,504	143,777

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	33,453	35,823
売上原価	19,617	20,681
売上総利益	13,835	15,142
販売費及び一般管理費	9,540	10,623
営業利益	4,295	4,518
営業外収益		
受取利息	121	160
受取配当金	104	107
為替差益	10	96
その他	53	106
営業外収益合計	290	470
営業外費用		
支払利息	12	11
その他	18	53
営業外費用合計	31	64
経常利益	4,555	4,924
特別損失		
固定資産廃棄損	23	16
投資有価証券評価損	—	100
特別損失合計	23	116
税金等調整前中間純利益	4,532	4,807
法人税等	1,333	1,448
中間純利益	3,198	3,359
親会社株主に帰属する中間純利益	3,198	3,359

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
中間純利益	3,198	3,359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△249	△677
為替換算調整勘定	762	1,688
退職給付に係る調整額	30	13
その他の包括利益合計	542	1,024
中間包括利益	3,741	4,384
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,741	4,384
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、これによる中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は2024年11月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式306,400株の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が999百万円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が3,536百万円となっております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2023年10月1日至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1.	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
香料事業(注) 3	18,496	7,760	7,196	33,453	—	33,453
顧客との契約から生じる収益	18,496	7,760	7,196	33,453	—	33,453
外部顧客への売上高	18,496	7,760	7,196	33,453	—	33,453
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,322	79	132	1,534	△1,534	—
計	19,819	7,839	7,328	34,987	△1,534	33,453
セグメント利益	2,421	1,760	69	4,252	43	4,295

- (注) 1. セグメント利益の調整額43百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額57百万円、棚卸資産の調整額△12百万円、その他△1百万円であります。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 香料事業はフレーバー、フレグランス等の製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。

II 当中間連結会計期間(自2024年10月1日至2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1.	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
香料事業(注) 3	19,097	8,847	7,878	35,823	—	35,823
顧客との契約から生じる収益	19,097	8,847	7,878	35,823	—	35,823
外部顧客への売上高	19,097	8,847	7,878	35,823	—	35,823
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,488	73	66	1,628	△1,628	—
計	20,586	8,920	7,945	37,452	△1,628	35,823
セグメント利益又は損失(△)	2,345	2,408	△293	4,460	58	4,518

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額58百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額62百万円、棚卸資産の調整額△1百万円、その他△2百万円であります。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 香料事業はフレーバー、フレグランス等の製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。